

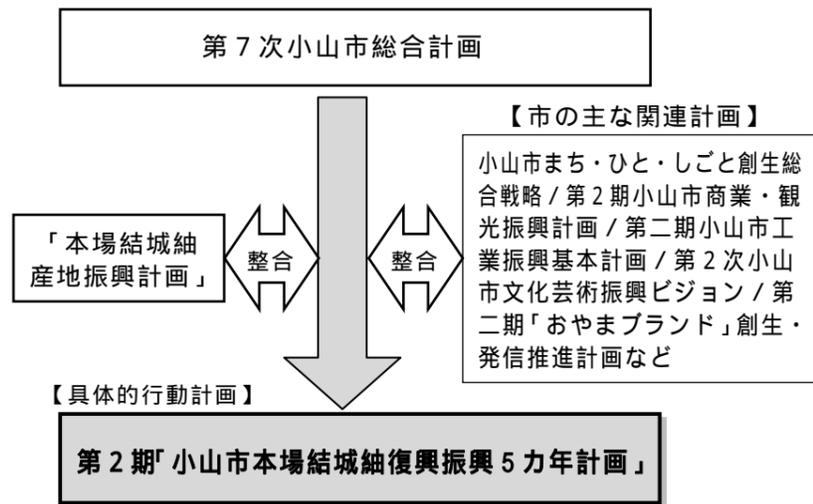
【計画書の該当項目】

1 計画の目的 【序 - 1】

小山市が誇る伝統産業であり、2010年に世界のユネスコ無形文化遺産に登録された「本場結城紬」産業の活性化に向けた復興振興策について、生産反数の減少や産地の高齢化等の状況を踏まえ、2013年3月に策定した第1期「小山市本場結城紬復興振興5カ年計画」に続く、第2期計画を策定するものです。

2 計画の位置づけ 【序 - 2】

本計画は、「第7次小山市総合計画」を推進するための具体的な行動計画として位置づけるものです。
また、栃木・茨城両県や地元産地組合により策定された「本場結城紬産地振興計画」との整合を図るとともに、本市の商業・産業・観光等に係る関連計画との整合を踏まえた計画とします。



3 計画の期間 【序 - 3】

2018年度から2022年度までの5カ年

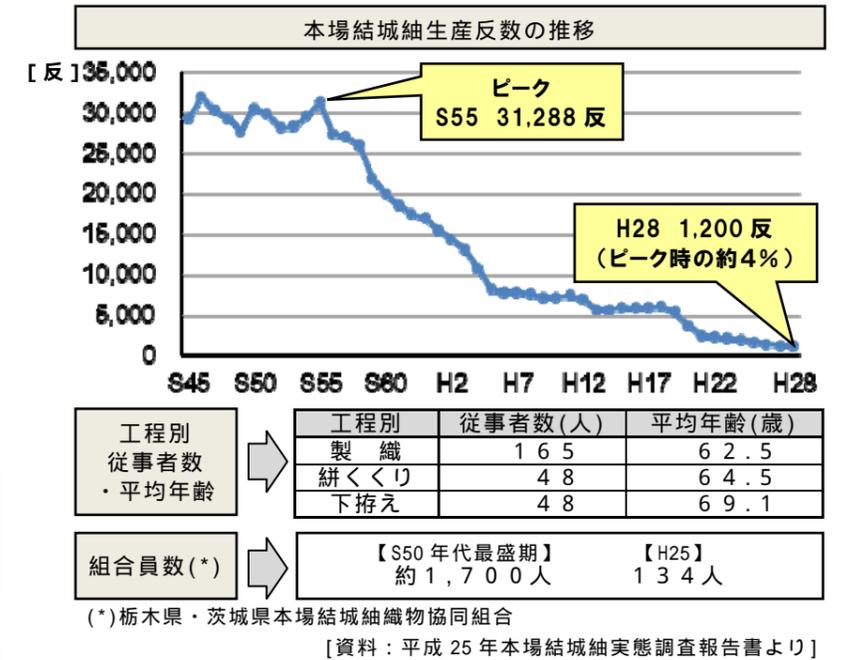
4 策定体制 【序 - 4】

「本場結城紬復興調査推進協議会」(以下、「協議会」と言います。)において協議・検討しました。
また、策定に際し、協議会委員アンケート及びヒアリング調査もあわせて実施しました。

5 本場結城紬復興振興に係る現状 【第1章 - 1 ~ 4】

本場結城紬を取り巻く現状や和装に関する調査資料及び訪日外国人の動向等からの現状を整理します。

- ① 本場結城紬を取り巻く現状からは...
 - 生産反数、従事者数、組合員数とも年々減少
 - 生産者の高齢化が進行
- ② 和装に関する調査資料からは...
 - 50代以上の女性が多くきものを購入
 - 若い世代にはSNS等による情報発信が重要
 - きものの潜在的な市場拡大には価格が課題
- ③ 訪日外国人の動向からは...
 - 予想される訪日外国人の急増
 - 高い米国人のきもの購入者の満足度
 - 期待される日本の文化・歴史の体験観光
- ④ 協議会委員アンケート及びヒアリング調査からは...
 - 本場結城紬のさらなる知名度向上・PRが必要
 - ニーズに対応した流通システムの改革が必要
 - 生産者に対する支援と生産体制の強化
 - 若い世代等に対する和装文化の教育が必要

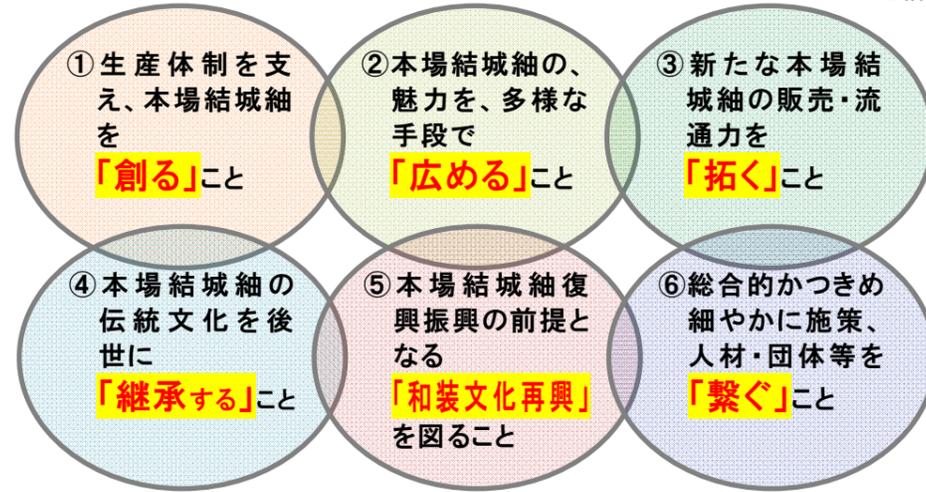


現状課題を総合的に踏まえた計画テーマ等の設定

6 本場結城紬復興振興に係る課題抽出と計画テーマ 【第1章 - 5、第2章 - 1】

本場結城紬の現状等を踏まえ、6つの計画課題及びその解決に向けた計画テーマ等を設定します。

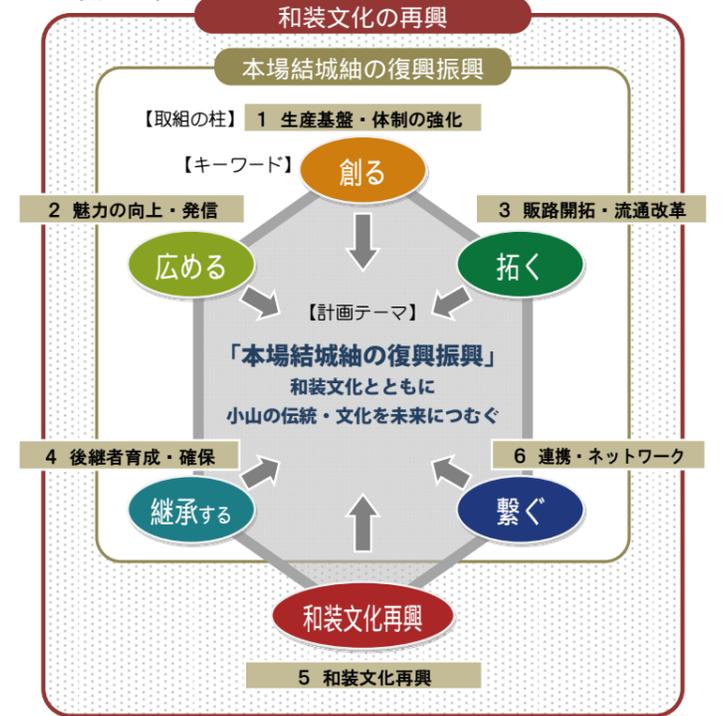
【計画課題】



【計画テーマ】

「本場結城紬の復興振興」
~和装文化とともに 小山の伝統・文化を 未来につむぐ~

【計画テーマ・取組の柱】



7 本場結城紬復興振興の計画体系

【第2章 - 2, 3】

本場結城紬復興振興に係る基本施策及びアクションプランを次のように位置づけます。また、アクションプランの内、本場結城紬の復興振興に向け、重点的に取り組むものを重点プランとして位置づけます。

■ 本場結城紬復興振興計画体系

| テーマ | 取組の柱 | 基本施策 | アクションプラン | 重点プラン | |
|---|--------------|---------------------|---|---|-----|
| 「本場結城紬の復興振興」 和装文化とともに 小山の伝統・文化を 未来につむぐ | 1 生産基盤・体制の強化 | 1-1 生産基盤の強化 | ●MADE in OYAMA の本場結城紬の生産を促進するとともに、本場結城紬を支える生産者に対し、継続的、積極的な生産を促進する効果的な支援を講じていきます。 | 1-1-1 地元小山市産繭を原料とする結城紬製作推進 1-1-2 市内養蚕農家及び糸とり者に対する助成制度の実施・検討 | |
| | | 1-2 生産体制の強化 | ●本場結城紬の産地組合である「栃木県本場結城紬織物協同組合」への支援を行います。また、県支援センター改築及び同内への共同作業場並びに養蚕業関連展示室の設置を要請するとともに、生産基盤となるNPO法人化等の構築に向け検討を進めます。 | 1-2-1 栃木県本場結城紬織物協同組合への支援 1-2-2 県支援センターの改築・県との連携協力による共同作業場等の確保 | ○ 1 |
| | 2 魅力の向上・発信 | 2-1 多様で積極的な普及宣伝 | ●小山にゆかりのある著名人の協力を得ながら、さらなる本場結城紬の知名度の向上を図るとともに、メディアやSNS等多様な媒体を積極的に活用し、若者や全国、世界に向けた本場結城紬の魅力、価値等を効果的に広め、発信していきます。 | 2-1-1 おもいがわ映画祭、小山評定ふるさと大使等のPR活用 2-1-2 SNSや各種メディア等を活用した本場結城紬の情報発信 | |
| | | 2-2 本場結城紬の着用促進 | ●市内外において、本場結城紬の着用や体験機会を積極的に提供し、本場結城紬の魅力を発信します。また、本場結城紬購入に対する市民への支援による本場結城紬購入機会の増大により、本場結城紬産業の振興を図ります。 | 2-2-1 本場結城紬の着用促進 2-2-2 結城紬購入費助成制度の実施 | ○ 2 |
| | 3 販路開拓・流通改革 | 3-1 販路開拓による販売促進 | ●消費者ニーズを的確に捉えながら、新商品開発や効果的なターゲットの絞り込み等を行い、本場結城紬の販売力を向上するための販路開拓を進めます。 | 3-1-1 小山本場結城紬ブランド展開 3-1-2 新商品等の開発 | ○ 3 |
| | | 3-2 新たな流通形態・販売手法の検討 | ●これまでの流通過程のみではなく、生産者や生産に携わる人が、安定した賃金を得られるよう流通システムを検討します。 | 3-2-1 生産者に寄り添う流通システムの検討 | |
| | 4 後継者育成・確保 | 4-1 後継者の育成 | ●本場結城紬の伝統技術を後世に伝えるため、県支援センターと連携しながら紬織士の採用・育成を核とし、農福連携を視野に入れ、各種講習会や講座等の開催等により、生産者や関係機関及び行政が一体となって後継者を育成します。また、本場結城紬の普及PRに係る人材を育成します。 | 4-1-1 本場結城紬各生産工程に係る講習会等の開催 4-1-2 紬織士職員の技術習得研修の実施 | ○ 4 |
| | | 4-2 後継者の確保 | ●本場結城紬の生産を継続的かつ安定的に行うことができるよう、適切な体制支援をはじめ、後継者確保のための組織化を検討します。とりわけ、原料不足については喫緊の課題であることから、早急に対応します。 | 4-2-1 糸つむぎ・真綿かけ従事者等の確保 | |
| | 5 和装文化再興 | 5-1 和装文化の推進 | ●和装文化に関する教育や着付け体験等を通じ、和装や本場結城紬に対する興味を喚起し、和装文化を継承する、貴重な担い手ともなり得る市内の若者を育成します。 | 5-1-1 和装文化教育プログラムの実施 5-1-2 小山市着付け資格制度の創設 | |
| | | 5-2 和装関連イベントの実施 | ●和装文化をより身近に楽しめる機会として、各種和装関連イベントを開催するなど、市民をはじめ和装愛好家や外国人観光客等の集客も含め、和装文化の普及・PRを進めます。 | 5-2-1 和装関連イベントの実施 5-2-2 全国規模のシルクサミット・紬サミットの開催・検討 | ○ 5 |
| | 6 連携・ネットワーク | 6-1 観光施策等との連携・協働 | ●東京オリンピック・パラリンピック開催等を契機とした、インバウンド効果を最大限活かし、本場結城紬の産地としての歴史文化をはじめ、着用・製作体験及び工程展示等を通じた観光施策を全国産地等とも連携しながら積極的に展開します。 | 6-1-1 本場結城紬歴史文化・体験観光の促進 6-1-2 本場結城紬展示・情報発信拠点施設の利用促進 | |
| | | 6-2 関係機関や人的ネットワーク活用 | ●国・県、関係市町村、商工会議所、商工会をはじめ、庁内各課による関連施策との連携を図るとともに、本場結城紬や和装に関わる各種組合、団体、グループ等とのネットワークを積極的に活用し、効率的かつきめ細やかな本場結城紬の復興振興を展開します。 | 6-2-1 関係機関及び庁内関連施策等との連携 6-2-2 和装に係る各種グループ等との連携 | ○ 6 |

計画体系に基づく具体的アクションプランの実行！

■ 重点プランの概要

| | | | | | |
|---|--|--|--|---|--|
| <p>1 県支援センターの改築・県との連携協力による共同作業場等の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県支援センター改築要望と若手生産者等の共同作業場等必要な機能の配置要請 | <p>2 本場結城紬の着用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おやま本場結城紬クラフト館での「本場結城紬着心地体験」の推進 ・「小山きもの日」を継続実施 | <p>3 小山本場結城紬ブランド展開</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小山市産繭を使用した、小山市独自の本場結城紬のブランド展開検討 | <p>4 紬織士職員の技術習得研修の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・後世に本場結城紬の伝統・技術を確実に継承するための、紬織士職員の技術習得研修の継続実施 | <p>5 全国規模のシルクサミット・紬サミットの開催・検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本市での2020年シルクサミットの開催実現 | <p>6 関係機関及び庁内関連施策等との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関及び農政・福祉・教育等庁内関連施策との連携による、各種施策の効果的・効率的実行 |
|---|--|--|--|---|--|